

教科 Subject	芸術		科目 Course	美術 I	学年 Grade	1	単位数 Credits	2						
教科書 Textbook	美術 I (光村図書)			副教材Additional Text /materials										
科目の目標 Course Objectives			美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。											
評価の基準 Assessment Standards			定期試験は行わない。完成作品の評価を基に、制作への意欲（授業態度、資料・画材準備等）による日々の評価を加味して採点・評価を行う。											
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~								
1 学期	4	1	<b>・オリエンテーション</b> <b>・「自画像」と「手」のデッサン</b> 1. 構図を練る 2. 観察描写 3. 立体的な調子の表現 4. 細部の描き込み 5. 鑑賞			・美術授業における心得などを理解する。 ・構図・表情を工夫することができる。 ・パーツの配置など全体のバランスを見ることができる。 ・光の方向を意識して陰影をつけることができる。 ・細部の表現まで妥協せず作品を完成させることができる。 ・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。								
		2												
		3												
	5	4	<b>・各国の仮面をつくる</b> 1. 資料収集 2. 材料収集			・各国の風俗、習慣、伝統、宗教などに触れることで、異なる文化の多様性に触れることができる。 ・異素材を構成要素に加えることで制作の幅を広げることができる。								
		5												
	6	6	3. 制作 4. 鑑賞			・対照、調和、美と醜、聖と俗、緊張と緩和などの要素を作品制作に考慮することで、形態感や色使いの工夫につなげられる。 ・自他の作品を鑑賞し、作品を通して異国への興味関心を高めることができる。								
	7	7												
2 学期	9	8	<b>・点描による細密画</b> 1. 鑑賞			・過去の作品を鑑賞し、点描の魅力に触れ、制作の意欲を高めることができる。 ・陰影が点の疎密によって表現できることを理解できる。 ・描きたいモチーフを準備し意欲的に制作することができる。 ・根気強く作業を積み重ね、高度な表現をすることができる。								
		9												
	10	10	2. 名前をテーマに練習 3. 制作			・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。								
		11												
	12	12	<b>・千社札をデザインする</b> 1. 自分自身の名前について知る 2. 自分自身の個性を見つめる 3. アイデアスケッチ 4. 制作 5. 鑑賞			・自分の名前に込められた願いを知ることができる。 ・性格・趣味など、客観的な視点で自己を見つめなおすことができる。 ・先に挙げた要素を加味して、魅力あるデザインを考えることができる。 ・切り絵技法を用いて明快な表現ができる。 ・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。								
3 学期	1	27							28 29			30 31 32 33		
	2	30	34 35											
		31												

履修者へのメッセージ Message for Students

自らの意思で選択した「美術」という科目に対し、胸を張って向き合う必要があります。中学時代に習った基礎を振り返ると同時に、新たな表現に積極的にチャレンジしてください。年齢とともに高まる客観性を生かして、自己を見つめ、目の前の対象を見つめましょう。これまでは見えなかった、物事の様々な側面が垣間見られるはずです。

教科 Subject	芸術		科目 Course	美術Ⅱ	学年 Grade	6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	美術Ⅱ（光村図書）			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験は行わない。完成作品の評価を基に、制作への意欲（授業態度、資料・画材準備等）による日々の評価を加味して採点・評価を行う。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	・想定デッサン		<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の作品を鑑賞し、制作への意欲を高めることができる。</li> <li>発想を広げ、独自の世界を表現できる。</li> <li>構図を工夫し効果的な見せ方を探ることができる。</li> <li>観察描写（鉢植え）と想定物の描写をバランスよく行うことができる。</li> <li>調子の強弱を意識し、空間の広がりを意識した描き込みをすることができる。</li> <li>作品の狙いをクラスメイトの前でプレゼンテーションし、明確に伝えることができる。</li> </ul>			
		2	1. 課題説明／鑑賞					
		3	2. アイデアスケッチ					
	5	4	3. 制作					
		5	4. 講評会／鑑賞					
2 学期	9	13	・アニメーションをつくる		<ul style="list-style-type: none"> <li>アニメーションについての理解を深めることができる。</li> <li>制作への意欲を高め、表現方法を主体的に決めることができる。</li> <li>オリジナリティのあるキャラクターを作ることができる。</li> <li>「動き」「ストーリー」のどちらに重きを置いて制作を進めるかを決め、展開を考えることができる。</li> <li>綿密な政策計画を立てることができる。</li> <li>必要な素材を自分自身で準備することができる。</li> <li>携帯電話かパソコンにアプリをインストールし、背景にまでこだわって撮影をすることができる。</li> <li>必要に応じて音楽を加えるなど、編集することができる。</li> <li>制作の意図を自ら説明し、魅力を伝えることができる</li> <li>他者の価値観や表現の良さを感じ取ることができる</li> </ul>			
		14	1. 表現方法について知る					
		15	2. 表現方法を定める					
	10	17	3. キャラクターとストーリーを考える					
		18	4. 制作					
11	21	5. 撮影						
	22	6. 編集						
	23	3. 講評会／鑑賞						
3 学期	1	27	・3学期は特別時間割となるため、2学期課題の完成度を高めたり、別課題を自分で見つけて表現活動を行う		<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に創作活動を楽しむことができる</li> </ul>			
		28						
		29						
	2	30						
		31						
3	32							
	33							
3	34							
	35							

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

高校生活最後となる美術の授業では「芸術家」になりきって制作してもらいます。想定デッサンでは心の中にある風景を現実世界のように表現し、制作終了時には完成した作品のプレゼンテーションをします。また最後のアニメーション制作では、自分自身の創り上げたキャラクターを思い通りに動かすことで、キャラクターに命を吹き込みます。